

JA いみず野の「新型コロナウイルス感染症」に対する 生産者等支援事業について

新型コロナウイルス感染症により、影響を受けた生産者の皆さまに向け、JA いみず野では以下の支援等に取り組んでまいりました。

- えだまめ生産継続支援
密状態に陥りやすかった作業現場において、当 JA が選別機等の設備を導入することで、少人数での作業が実現し、コロナ禍においてもえだまめ生産者の生産継続が可能となるようサポートしました。
- 花卉・イチジクの鮮度保持による価格競争力支援
コロナにより需要が減少した花卉・いちじくへの対策として、鮮度を保ち、価格競争力を高めることを目的として、冷蔵設備を導入しました。
- 農薬散布の負担軽減
当 JA が動力噴霧器を購入し、作業を請け負うことで、生産者の負担軽減・生産継続支援を行っています。
- ハウスにおける生産継続支援
育苗ハウスにおける軽トラの搬入路工事や、いちごハウスにおける作業効率化・感染予防のための設備を導入することで、生産者の生産継続を支援しました。
- 農産物直売所「菜っちゃん」における販売強化対策
外食需要が減少する中、直売所での販売ニーズの高まりを受け、商品陳列棚等を増加し、より多くの商品を販売できるよう対策しました。
- 経営継続補助金採択者への補助残支援
コロナ対策を実施するにあたり、国の経営継続補助金に採択された生産者に対し、JA としても支援すべく、上乗せで助成金を支出しました。
- 信用事業店舗における利用者の感染予防対策
コロナ感染予防のため、本・支店の窓口へアクリル板や空気清浄機、利用者向け体温計、消毒液等を設置しました。また、小杉支店においては、個室の相談ブースを設け感染予防に努めました。